

平成27年度 第1号



金蔵院 (小金井市)

武蔵小金井駅南口より300m南下した地に真言宗豊山派天神山観音寺金蔵院がある。永禄9年(1566)に阿闍梨堯存(あじゃりぎょうそん)が中興したといわれる。明治34年頃尋常小学校、大正11年小金井役場として使われていた。

秋、境内には白萩が楚々と咲く。

■ 目次 ■

役割と使命を果たす……………(1)

平成27年度 北多摩東地区保護司会定期総会を終えて……………(2)

北多摩東地区保護司会役員……………(2)

新任官紹介……………(3)

新分区長挨拶……………(3)

第34回多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典開催……………(3)

多摩連情報……………(4)

第65回 社会を明るくする運動……………(4)

ぶんくトピックス……………(5)

平成27年度 第1期地域別定例研修……………(7)

更生保護女性会……………(7)

桐友会だより……………(7)

玉川上水ものがたり……………(8)

新任保護司紹介……………(8)

新広報部員紹介……………(8)

編集後記……………(8)

北多摩東地区保護司会の皆様方には、犯罪や非行等に陥った人たちの更正を支援する活動の担い手として、日々、ご尽力・ご活躍されておられますことにつきまして敬意を表しますとともに、管内治安維持の責務を負う立場の者として、感謝を申し上げる次第です。

さて、警察は言うまでもありませんが、「公共の安全と秩序を維持する役割を与えられ、誇りと使命感を持って、国家と国民に奉ずること。」が求められておりますが、保護司法の第一条には「社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与すること。」とあるように、民間のボランティアというお立場ではありますが、保護司として法務大臣から委嘱され、保護観察という刑事政策の一翼としての大きな役割と使命が課せられていきます。

少年の保護観察者、
三鷹警察署長 岡 英夫

役割と使命を果たす

執行猶予者など、それぞれに違った人生を歩んできた人達が訪れて来られると思いますが、型に嵌まった対応だけでは、与えられた役割とその使命を果たすことはできないと推察致します。相手の境遇等に適した多種多様な皆様方の更正支援等によって、保護対象者の人達がスムーズな社会復帰がなされるなど更正等に繋がれば、犯罪の起きにくい地域社会づくりに大きく寄与するものと思われれます。それ故に苦勞やご負担も大きいと思料されますが、改めまして感謝を申し上げますとともに、今後も犯罪の起きにくい地域社会づくりを推進するたため、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、北多摩東地区保護司会の益々のご隆盛と、保護司各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

平成27年度

北多摩東地区保護司会定期総会を終えて

尾崎 幸信



爽やかな風が吹く、心地よい季節を迎えた4月28日(火)に平成27年度北多摩東地区保護司会定期総会が国分寺シホールにて開催されました。

総会は、会員総数102名(平成27年4月1日現在)の内87名(委任

状33枚)、来賓15名、4市事務局長7名の出席をいただき、司会者から会員の過半数以上の出席があり、総会が成立した由の宣言から始まりました。初めに北多摩東地区保護司会須崎英夫会長から、ご来賓に対する感謝の言葉があり、続いて東京保護観察所立川支部・統括保護観察官 石井法子様からご挨拶をいただきました。

議事は、議長に千本木勘博(小金井分区)・副議長に田中久美子(国分寺分区)・書記に天野由里佳(担当事務局)以上の3名を選出して行われました。

提案議題は次のとおりです。

- 1 平成26年度活動報告について
(大矢照男 副会長)
- 2 平成26年度収支決算ならびに特別会計収支決算の認定
(清水 勉 会計理事)
- 3 監査報告(峯岸桂一 監事)
- 4 役員改選につきまして、新理事を紹介し承認され、須崎英夫

会長から、新役員の紹介と挨拶がありました。

- 5 平成27年度活動計画(案)について
(須崎英夫 会長)
 - 6 平成27年度収支予算書(案)について
(清水 勉 会計理事)
 - 7 北多摩東地区保護司会分区活性化基金規程(案)
(須崎英夫 会長)
 - 8 北多摩東地区保護司会基金規程(案)
(須崎英夫 会長)
- 以上提案された議事は原案どおり全て可決されました。
- 続いて、本日のご来賓である五十嵐修武蔵野市副市長、そして橋本正之国分寺副市長からの祝辞があり、その後、三鷹市長ならびに小金井市長からお祝いメッセージを頂き、さらに四市を代表して篠原ひろし小金井市議会議長からご挨拶をいただきました。森田忠男副会長の閉会の言葉で総会はすべて終了しました。

15分の休憩後、第二部懇親会は、須崎会長の挨拶で始まり、山代法道北多摩東桐友会代表世話人のご発声で乾杯し、和やかな内に懇親会が進み、星野直治副会長の中締めで終了しました。

(総務部 尾崎 幸信)

北多摩東地区保護司会役員

任期：平成27年定期総会(4月)

平成29年(4月)

役職	氏名	分区名
会長	須崎 英夫	(国分寺)
副会長	大矢 照男	(武蔵野)
副会長	星野 直治	(三鷹)
副会長	小山 茂	(小金井)
副会長	森田 忠男	(国分寺)
会計理事	清水 勉	(小金井)
会計理事	松村 久子	(三鷹)
理事	小美濃晃子	(武蔵野)
理事	田中 孝良	(武蔵野)
理事	宮下みさ子	(武蔵野)
理事	指田 昌雄	(三鷹)
理事	岡田 英一	(三鷹)
理事	五十嵐京子	(小金井)
理事	孤島 法夫	(小金井)
理事	田中 良人	(国分寺)
理事	尾崎 幸信	(国分寺)
監事	和地 誠一	(国分寺)
監事	茂木 巖	(武蔵野)
監事	峯岸 桂一	(国分寺)
総務部長	尾崎 幸信	(国分寺)
研修部長	小美濃晃子	(武蔵野)
地域活動部長	岡田 英一	(三鷹)
広報部長	孤島 法夫	(小金井)

(注) 副会長は分区長を兼務

新任官紹介

今年度は、北多摩東地区に2人の主任官が着任されました。

●三鷹・小金井・国分寺分区担当



小林有紀 主任官

●武蔵野分区担当



林田実代 主任官

どうぞよろしく

お願いいたします。



新分区長挨拶

保護司に想う



三鷹分区長

星野 直治

三鷹分区長に指名されま

した星野です。分区長になってあまりにも会議の多さに驚いております。

仕事に就いている人にも、保護司を受けやすいようにできるだけ会議の回数を減らす工夫や、会議の開始時間の工夫など改善してゆくことも必要ではないでしょうか。

私としては担当している対象者の来訪や往訪を多くして、一日も早い社会復帰、再犯防止等の自立を支援していきたいと考えておりますが、仕事と他の組織との係わりもあることから保護司本来の活動が薄れはしないかとの懸念が生じてきました。幸いなことに三鷹市は事務局が大変協力的で、行動も共にしておりますので、支えていただきながら責任を果たしていけそうな気がしております。

私はこれから地域で「保護司の啓発活動」とともに、担い手を育てていく環境づくりをしていきたいと考えております。

そのためにも現在の活動にも、もう少しゆとりがあればと思っておりますが皆様はいかがでしょうか。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第34回多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典開催

7月3日(金)に立川第二法務総合庁舎大会議室にて更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。今回の受表彰者は、保護司51名、保護司会事務担当者7名、更生保護女性会員62名、BBS会員6名、更生保護施設職員1名、更生保護事業貢献者1名の合計128名です。

北多摩東地区では次の方々を受表彰されました。(敬称略)

会長感謝状受彰者

- 高橋 豊(武蔵野)
- 中里 英亮(武蔵野)
- 宇田川 正浩(三鷹)
- 吉野 武(三鷹)
- 鈴木 忠良(小金井)

北多摩東更生保護女性会

- 村澤 禮子(武蔵野)
- 大岩 ひろみ(武蔵野)
- 高田 スミ(武蔵野)
- 森山 眞理(三鷹)
- 和田 成子(三鷹)
- 東條 佳子(小金井)
- 川村 奈美子(小金井)
- 松木 やす子(国分寺)
- 關田 美代子(国分寺)

誠におめでとうございます。

式典では、多摩地区保護司会連絡協議会野崎重弥会長から感謝状

の贈呈、謝辞、挨拶、祝辞等の後休憩をはさんで講演がありました。講師は東京保護観察所立川支部南元英夫支部長で、演題は「更生保護の今日的課題」です。

講演の中で、南元支部長はなぜ再犯防止に努めなければならぬかをデータを示しながら説明しました。行く当てのない出所者の数を減らす数値目標をあげて、居場所がないために再犯してしまう人達のための「居場所」作りがいかに大切かを説いています。

そのためにも、地域住民の理解と支援が必要となるが、その要となるのが保護司と更生保護女性会であるとの、経験を踏まえた講演を約1時間され、すべての日程は終了しました。

多摩連情報

・平成26年度保護司自主研修会

平成27年2月23日(月)東京保護
観察所立川支部大会議室において、
多摩地区保護司会連絡協議会保護
司自主研修会が実施されました。

当日は140人を超える保護司が参
加し、講師に東京保護観察所立川
支部南元英夫支部長を迎えて「更
生保護の今日的課題と今後の動
向」というテーマで講演会を行
いました。

主な内容は①なぜ再犯防止が大
切なのか②社会内処遇における地
域の力③「社会貢献活動」と「刑
の一部の執行猶予」で、いずれも
今後の保護司活動に役立ち、また
更生保護の重要さを再認識する中
身の濃い講演会でした。

・平成27年度多摩連新役員紹介

- 会長 野崎 重弥 (北北地区)
- 副会長・専門部会長 (4名)
- 総務部 平本 璋一 (町田地区)
- 研修部 粕谷 勝榮 (北西地区)
- 地活部 鴨志田守久 (調布狛江)
- 広報部 須崎 英夫 (北東地区)
- (以上、いずれも地区会長)
- 監事 馬場 久夫 (調布狛江)
- 比留間克美 (北北地区)

第65回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち
直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

7月4日(土) 11時より吉祥寺
駅、武蔵境駅周辺で邑上守正市長
はじめ関係諸団体の方々と共に広
報活動を行いました。

今年も中高生リーダー、むさし
のジュニア合唱団「風」、第三中
学校の生徒、保護者の方々計79名
に参加して頂きました。

その他、武蔵境ピクニック、境
まつり、延命寺薬師講、本宿盆踊
り、桜堤コミセン夏まつりでも、
うちわ、ティッシュ等を配り広報
活動を行いました。(中村扶佐子)



三鷹分区

「社会を明るくする運動」の強
調月間として、7月1日(水) 16
時半より三鷹駅南口のペDESTロ
アンデッキにて、清原慶子三鷹市
長をはじめ、25団体90名以上の推
進委員の皆様、保護観察所南元英
夫立川支部長、地域の第四中学校
の9名の生徒達と校長先生共に参
加して頂き、社会を明るくする運
動の駅頭広報活動を行いました。

当日は朝から雨が降って活動も危
ぶまりましたが、参加された皆様
の社会を明るくしようという熱意
に負けたのか、午後からは薄日も
射す天候になり、皆がタスキを掛
け、のほりを上げ、リーフレット
と爽快シートを配りながら道行
く人達に、社会を明るくする運
動をアピールできました。立ち
止まって熱心に話に聞き入る人達
や、質問をしてくる方もいて現在
の社会情勢において、とても重要
で有意義な駅頭広報活動が行えた
のではないかと思います。

(宇田川正浩)



小金井分区分

1 駅頭広報活動

7月1日、16時半より小金井市内2駅の駅頭において、通勤・通学客や買い物をする市民の方に、同運動啓発ティッシュを配り、犯罪や非行のない明るい社会を築くための呼びかけを行いました。今年も昨年と同様、慌ただしい朝の通勤・通学時間帯を避け、夕刻に行いました。稲葉市長をはじめ、市内5校の中学生や、引率の校長先生もボランティアで参加し、「ありがとう」「頑張ってるね」の声を頂きました。



2 子ども映画会広報活動

7月22日、午前・午後の2部に分け、小金井市宮地楽器ホールにおいて「モンスターホテル」の上映会を行いました。昨年より割増の約850名の親子が観覧し、小金井分

区では受付や場内整備の時に広報活動を行いました。

特に今回は、昨年度の反省を踏まえ、スクリーンに社明運動の標語を投射し、社明活動の主旨徹底を図りました。大きな混乱もなく、映画を楽しんでいただきました。

3 「小金井阿波おどり」広報活動

7月25日「第37回阿波踊り」が2日間の日程で開催されました。4万人の観客が見守るなか、延べ46の連が参加しました。小金井分區では、「竹うちわ」配布による広報活動を行いました。

暑さのせいも手伝って、多くの方に受け取っていただきました。(小川 和男)

国分寺分区分

「夏が来た!」

国分寺分区分で「社会を明るくする運動」の一環としてひまわり畑を作るようになったのは、5年前。それから毎年、種蒔き、草取



りに汗を流し、花が咲いたら迷路を作って、市内の子ども達に楽しんでもらってきました。畑の周囲にノボリを立て、ひまわりを愛でつつ通行する方々に「社会を明るくする運動」の存在を知っていただくきっかけにもなっています。今年も雑草の勢いが例年以上!猛暑の中、草との格闘が続きまし

たが:今、梅雨明けと共に一気に開花したひまわり畑に、子ども達の歓声が響いています。(戸倉 央江)



ぶんくつピックス

武蔵野分区分



茨城就業支援センター

6月1日、茨城就業支援センターを視察しました。平成21年9

月に開所した施設で、農業に従事して自立することを目指す人を目指すため、実際に農業を体験すること

が特徴です。入所者は、成人男子が対象で、ほとんどが仮釈放者です。2・5・8・12月に、4人ずつ入所し、現在8名が在籍しています。選考方法は、保護観察官が刑務所で本人と直接面接を行い、農業の実情を理解するなど、適性を判断しています。居室はすべて個室、3食付で無料です。実習生は、施設から茨城県内の農家に向き実習を行います。平成27年5月現在の満期退所者数は、計80名で、就農35名、一般就職28名、中途対処17名です。今後の課題としては、入所者の安定確保と農業者の協力拡大があげられています。

(小美濃 安弘)

三鷹分区

水戸刑務所視察

三鷹分区は、5月18日から19日に宿泊研修で、水戸刑務所を視察しました。平成20年4月から、それまでの水戸少年刑務所から「水戸刑務所」に改称されて、収容対象者は、犯罪傾向の進んだ成人男子受刑者で、刑期10年未満の者。最近では、年齢も上って高齢者も増えて、体調をくずしたり、作業等もできず、おむつを使用しなければならぬような入所者もいて、それぞれの対応が大変だということでした。



施設見学後は、五浦温泉に宿泊し、次の日は、震災後、再建された六角堂や五浦美術館、野口雨情記念館等見学し帰路に着きました。
(真壁 敦子)

小金井分区

管外研修

6月4日(木)7名で小金井市役所を出発し、福島自立更生促進センターを訪ねました。

この施設は刑務所を仮釈放された成人男性を受け入れる国の更生保護施設です。

福島保護観察所の敷地内に設けられ、宿泊させながら保護観察官が直接指導援助を行い、改善更生と社会復帰に繋いで行くものです。施設は平成22年に開設されましたが、そこに至る道のりはいばらの道そのものでした。

平成20年に計画が明らかになつてから、「なぜここに建てるのか、子どもに危険が及び環境が悪くなる」など、住民の極めて強い反対に遇いました。観察所は何度も説明会を開き住民と協議を重ねて粘り強く対応し、やっと理解を得て開設にこぎつけました。この間、当時の統括保護観察官であった現立川支部の南元支部長が大変なご苦労をなされたとのこと。施設の運営



は、住民との合意を踏まえ、しっかりと管理指導体制のもと、第三者機関の運営連絡会議、厳正な入所者選定などにより運営を行うとともに、種々の地域貢献策を講じ、地域との良好な関係維持に努めています。

その後更生保護施設「至道会」を視察した後、穴原温泉に宿泊し帰途につきました。(志波 直男)

国分寺分区

吹奏楽ひまわりコンサート

平成27年3月26日(木)に国分寺市立いずみホールにおいて社会



を明るくする運動「吹奏楽ひまわりコンサート」が開催されました。ホール前には警視庁のキャラバンにより薬物展示車両が来て、薬物の展示やアニメや写真などで来場者に薬物の現実的な恐ろしさなどが広報されました。各中学校の吹奏楽部が3曲演奏、BBS会より「気持の伝え方」の話と、ハンス・ウィルヘルムの絵本「ずーっとずーっとだいきだよ」を朗読発表しました。自分の考えや気持ちは思っているだけでは相手には伝わらないことや、言葉にして伝えることの大切さなどをわかりやすく紹介されました。さまざまな形ですべての子どもたちが体験すれば、非行や犯罪はさらに少なくできると感じないかと思われました。
(林 博行)

平成27年度

第Ⅰ期地域別定例研修 社会貢献活動について

6月17日(水)に武蔵野プレイス、6月22日(月)には国分寺南町地域センターで開催されました。はじめに須崎会長のあいさつから始まり、次に小林主任官から講義の時間とすすめ方について説明がありました。

北多摩東地区の各市の保護観察と環境調整の人数と状況について報告があり、次に本題の社会貢献活動についての講義がはじまりました。平成25年6月に改正更生保護法が成立し、特別遵守事項に社会



貢献活動を行うことが加えられ、本年6月から開始されました。この活動を必要である」と認められた保護

観察対象者には、活動への参加が義務付けられました。

担当保護司が対象者を円滑に社会貢献活動につなげることを目的とした研修です。

内容は◎社会貢献活動のこれまでの経緯 ◎目的 ◎内容 ◎実施体制 ◎実施対象者 ◎回数・期間・時間・場所・短期保護観察の課題 ◎手続と流れ、以上の講義が行われました。立川保護観察所における社会貢献活動は援農活動・使用済切手の整理、養護老人ホーム2カ所で行われる手伝い等とのことでした。

研修が終わり、質問が活発に出て有意義な研修でした。出席者は2カ所79人が出席しました。北多摩東地区の各市に社会貢献活動担当保護司が1名ずつで計4人います。

研修は出席が義務づけられています。自分自身のためですので、かならず出席するようにお願いします。(研修部長 小美濃 晃子)

北多摩東更生保護女性会 総会を終えて



会長

立川 八重子

この度北多摩東地区更生保護女性会会長をお引き受けしました立川八重子と申します。どうぞよろしくお願いたします。

平成27年度の北多摩東更生保護女性会総会が5月11日武蔵野プレイスにおいて開催されました。

当日は国分寺市長井澤邦夫様、小金井市長稲葉孝彦様をはじめ多数のご来賓の方々、会員の皆様にご出席いただきました。議案全てをご承認頂き、新体制のもと新年度の活動を開始することができました。

更女の活動は関係機関との連携が不可欠ですが、保護司会とは車の両輪と言われる関係にあります。「社会を明るくする運動」をはじめ様々な活動を通して名実共に車の両輪になれるよう努力していきたいと思っております。ご指導よろしくお願いたします。

桐友会だより

山代 法道



平成27年度の北多摩東桐友会総会は本年5月27日、武蔵野市において開催されました。

当日は、ご来賓として北多摩東地区保護司会の須崎英夫会長はじめ、4市の分区長(副会長)及び同地区更生保護女性会の立川八重子会長にご出席いただきました。桐友会会員の出席は13名でした。

総会は、平成26年度の事業報告・決算報告に続いて同27年度の事業計画・予算案が審議され、世話人の改選が行われました。

昨年度は会費の負担について、保護司会と協議し、全会員の意見を徴した結果、平成27年度から、東京桐友会の会費は個人負担、北多摩東桐友会からの運営は、北多摩東地区保護司会からの助成金で行うことが決定しました。

本年4月1日現在の会員数は、東京20名、北多摩東23名です。

世話人 山代 法道(武蔵野)

新・酒井 浩治(三鷹)

新・江田 巧(小金井)

二瓶 洋子(国分寺)

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

平成二十七年九月一日発行



三鷹市「玉鹿石」

太宰治が入水した場所の近くに、太宰ゆかりの故郷金木町（現・五所川原市）産の玉鹿石が置かれています。太宰は玉川上水の滝のような流れだったこの場所を愛していました。作家太宰治は昭和14年9月東京府北多摩郡三鷹村下連雀に転居。昭和23年6月まで9年間で「斜陽」「走れメロス」「人間失格」の作品を発表。

武蔵野市「井の頭池遺跡群」(東京都指定)

井の頭池の周囲には大規模な遺跡が広がっていますが、指定遺跡は、公園に含まれる部分です。



武蔵野台地の湧水池周辺の遺跡としての代表例であり、縄文中期から後期にかけての竪穴住居、敷石住居、土器、石器類が出土しています。

玉川上水ものがたり

国分寺市「川崎・伊奈両代官謝恩塔(妙法寺境内)」

幕末の新田農民援助策を立案した川崎平右衛門と、継続した伊奈半左衛門に感謝して南北武蔵野新田80余の村々が、寛政11年(1799)に建てた宝篋印塔です。建立の経緯は内部から発見された市重要有形文化財の「武蔵野新田養料金一件始末書」に記載されています。



小金井市「平右衛門橋開通式」(平成27年7月31日)

武蔵野82カ所新田世話役から代官になった、府中押立村名主「川崎平右衛門定孝」が玉川上水に名勝小金井桜を植えたことに因んで名付けました。

構造は「フィーレンディール橋」といい、日本では珍しいものです。



(国分寺分区)
大竹 眞澄氏



(武蔵野分区)
渡邊 芳弘氏



(武蔵野分区)
中川 知子氏



(武蔵野分区)
青山 真市郎氏

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待致します。
○平成27年5月15日発令

新任保護司

■新広報部員紹介

- 部長 孤島 法夫 (小金井)
- 副部長 長谷部 豊子 (国分寺)
- 会計 望月 加奈子 (武蔵野)
- 幹事 中村 扶佐子 (武蔵野)
- 幹事 三橋 優子 (三鷹)
- 幹事 小川 和男 (小金井)
- 幹事 宮崎 邦子 (国分寺)
- 幹事 大久保 良子 (武蔵野)
- 阿部 勉 (三鷹)
- 吉野 武 (三鷹)
- 渡辺 卓利 (小金井)
- 信山 勝由 (小金井)
- 水野 瑠美 (国分寺)

編集後記

会報(第122号)が無事に発行できるのは、皆様方の支えがあつてこそと実感しております。ご寄稿等でお世話になった方々には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

今年度より、広報部のメンバーが一新しました。ますます多くの方にご講読いただけますよう、部員一同、一頁一頁を丁寧に読みやすく編集していきたくと思っております。

(国分寺分区) 水野 瑠美

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 孤島法夫 電話〇四二(三八二)一〇七一